

瑞穂町教育委員会
教育長 鳥海 俊身 様

瑞穂町立瑞穂第四小学校
校長 高橋 一広
(公印省略)

令和2年度 学校評価報告書

1 自己評価

(1) 評価及び成果と課題

評価項目	評価	元評価	成果	課題
1 学力向上	B	B	○めあてとゴールを明確にした授業展開 ○家庭学習習慣の確立	○習熟度別算数指導の実施 ○ふるさと学習「みずほ学」の実践
2 健康・体力	C	B	○保健指導の充実 ○体力の向上	○運動の日常化 ○オリパラ教育の実践
3 道徳教育	B	B	○挨拶の励行 ○言語環境の整備	○道徳的判断力・実践意欲 ○道徳授業の充実
4 特別支援教育	A	B	○連携協力体制を深める ○学習の見通しをもった環境整備、ユニバーサルデザイン	○個に応じた指導の工夫
5 生活指導	B	A	○「生活指導の手引き」を活用した一貫性のある指導 ○情報モラル教育の充実	○危機管理能力の育成
6 研修・研究	A	B	○校内OJTの充実 ○服務規律の徹底	○校内研究の充実 ○学年間の交換授業
7 家庭・地域の連携	A	B	○教育活動の情報発信	○地域との連携及び人材活用
8 経営・組織	B	B	○服務事故防止に向けた相互啓発	○校務分掌の効率化

2 学校関係者評価

(1) 主な活動

月日	会場	協議会内容等
令和2年8月3日	紙上開催	令和2年度の学校経営、1学期の教育活動
令和2年11月9日	紙上開催	教育活動中間報告
令和3年1月23日	紙上開催	学校評価(自己、児童、保護者)、関係者評価

(3)学校関係者評価で出た主な意見等

・コロナ予防対策でいろいろ業務も増え、大変だと思います。いろいろ配慮、工夫してくださりありがとうございます。今回の評価に関しましては、よくわかり中での記入になりますので、いつも子供たちを見てくださっている教員評価が一番正しいのではないかと思います、適切な自己評価であると記入させていただきました。四小ブログでは、学校の様子が紹介され、各クラスの授業風景もアップされ、保護者の方も学校見学に行けなくても様子が分かり、安心されている方も多いと思います。昨年秋に学びのテーマパークコーディネーター会議の時に、四小はとでもみんな意欲的に参加して頑張っている報告も聞きました。さらにステップアップへ進んでほしいと思います。なかなか民生委員との情報交換会も実施できないまま地域で異変がないかの見守り活動は各委員ができる範囲で取り組んでいます。コロナが早く収束し、安心・安全な毎日が送れるようになってほしいと願います。

・新型コロナウイルス感染症問題がある中で、今までよりもたくさんの時間と労力を使わなくてはならない状況かと思えます。児童たちのために本当にありがとうございます。

・コロナ感染に気を配りながらの授業は苦勞が耐えないと思いますが、先生たちの頑張りで発生もせず今があります。これからも気を緩めないで今後も乗り越えてください。

・今年度は色々な行事が中止となり、子供たちも残念な一年間だったと思います。私も、運動会を大変楽しみにしていたので、非常に残念です。

・具体的な方策を重要評価させていただきました。

・学習能力向上に貢献されている姿勢が見られ、感心させられました。しかしながら、家庭と地域については、PTAの親の見識が不足し、町会への参加が少なく利益を訴える有様です。わが地域の子供会参加率は非常に少なく、10%位です。社会貢献ボランティア共助のあり方を教育に取り入れて頂きたい。地域に運動場が少なく、設備も整ってない現状で子供たちには苦勞をしています、施設を壊す行為は良くない事を厳しく教えて頂きたい。

・今年度はコロナの影響で過去に経験のない学校運営をせざるを得ない中で、児童のため、更なる創意工夫で頑張ってくださいと思います。

・この1年制限される中、先生方のご指導に感謝！！

・先生方が頑張っても子供たちがついてこれない事がありますが、家庭・地域のサポートが必要です。先生方が悪いわけではありません。もっと自信をもった評価でも良いと思います(評価の低いもの)。これからもよろしくをお願いします。

・コロナ禍で学校内での様子はわかりませんが、通学・下校時に元気に挨拶する児童が以前よりも増えているように感じる。その一方で帰宅後、公園、グラウンドで遊ぶ子供たちのマナーが良くない点も見られた。特にゴミのポイ捨て、高学年の自転車の2人乗りが多いように感じました。

3 今年度の学校経営計画の実現状況について

重点事項 1	健康・体力
(1)取組状況	<p>「新型コロナウイルス感染症への適切な対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「新しい生活様式」を踏まえた学校行動基準をもとにし、危機管理を徹底する。 ○長期の臨時休校による学習面への影響を踏まえた学びの保障を行う。
(2)成果	<ul style="list-style-type: none"> ○「休み時間の新しい遊び方」や「友達との距離の目安」などの掲示物を作成した。 ○校庭での検温カードの確認、マスクの常時着用、手洗い・消毒の励行等、感染症への正しい予防を実践した。また、飛沫防止ガードやフェイスシールド、サーキュレーター等の効果的な活用を全教職員で共通理解し、感染症防止と教育活動の両立を図った。 ○「新しい年間指導計画」を作成し直し、標準時数を確保し、授業の効率化を図った。 ○Web会議システムを活用したオンライン学習の教員研修を行い、実践を推進した。
(3)課題	<ul style="list-style-type: none"> ○飛沫防止ガードやフェイスシールドを活用した上でのグループ活動や対話的活動の実践 ○感染防止を意識した「新しい生活様式」の日常化 ○Web会議システムを活用したオンライン学習への実践
(4)次年度に向けての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の「新しい生活様式」を計画的に実践する。 ○感染症拡大防止の徹底と学びの保障の両立を図る。 ○Web会議システムを活用したオンライン学習(ハイブリッド型・双方向同時型)を日常的に実践する。 ○タブレットやデジタル教科書など、ICTを活用した授業や視聴覚教材を活用した授業を計画的に実践する。

重点事項 2	学力向上
(1)取組状況	<p>「確かな学力の向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習規律・学習習慣を確立する。 ○思考力・判断力・表現力を育成する。 ○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。
(2)成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に向かう姿勢「身構え・心構え・物構え」の指導の徹底を図った。 ○めあてとゴールを明確にし、主体的・対話的で深い学びができる授業改善を行い、資質・能力の向上を図った。 ○放課後学習「学びのテーマパーク」で「自主学習ノート」に取り組ませ、児童が自ら進んで学ぶ力を育んだ。
(3)課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に向かう3つの構えへの周知徹底 ○1単位時間の中で、児童が考えたり討論したり、活動したりする時間の確保 ○自主学習へ取り組む意欲の2極化
(4)次年度に向けての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○全校朝会等で繰り返し指導する。また、内容を教室掲示し、意識付けを徹底する。 ○1単位時間の「めもじまれ」の中で、自力解決や意見交流の場を半分以上設定させる。 ○自主学習におけるマニュアルの作成、見本ノートの掲示、管理職によるノート確認等、意欲を高める取組の強化を図る。
重点事項 3	道徳教育
(1)取組状況	<p>「豊かな人間関係の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的な心情や実践力を身に付ける。 ○人権意識を高める。 ○異学年交流を実践する。
(2)成果	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳授業の充実を通して自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める実践を行った。 ○気持ちの良い挨拶を励行し、「①自分から②立ち止まって③相手を見てはっきりと」を周知した。 ○縦割り班活動「ハピクロタイム」を通して、思いやりの心を育んだ。
(3)課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「考える道徳」「議論する道徳」の実践 ○教員だけでなく、地域の人等、誰にでも挨拶できる児童の育成 ○コロナ禍の中での異学年交流の活動内容の工夫
(4)次年度に向けての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の授業を通して、道徳的な判断力、心情、意欲と態度を育成する。 ○「心通わせ、夢を育む」学校を目指し、挨拶を通して心の通う対人関係の素地を養う。 ○6年生がリーダーとして、年間を通して関わり合いを育む縦割り班活動「ハピクロタイム」を実践する。